

広報 いまり

10月の人口	
総人口	59,087人
男	27,611人
女	31,426人
前月比	+107人
世帯数	14,877世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和47年11月1日 伊万里市役所秘書企画課発行 №.225



伊万里トンテン祭りは、22日の安幕から好天に恵まれ、町中ごったがえすにぎわいをみせ、24日夕刻の満ち潮を期して行なわれた勇壮なトンテントン川落として3日間の幕を閉じました。

なかでもことしは、35年ぶりに復活した二里町中里地区の大名行列や竹内市長などの有志連や婦人・保育児など総勢約350人が、揃いのユカタにスゲ笠スタイルで、伊万里音頭や伊万里小唄のリズムにのって手ぶらもあざやかに市中を道行き、祭り気分をいっそう盛り上げました。

広報こよみ

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 3日 文化の日 | 25日 県下高校連合音楽会（市民会館） |
| 市こども話し方大会（市民会館） | 26日 市内小学校音楽会（〃） |
| 6日まで 文化祭 | 26日～12月2日 秋の全国火災予防運動 |
| 11日 市内施設めぐり | |
| 13日 市社会教育研究大会（市民会館） | |
| 14・28日 交通事故相談日 | |
| 15日 七五三祝 | |
| 16日 法律相談日 | |
| 23日 勤労感謝の日 | |

47'

11
月

1516

長浜ダム工事を再開

工期は49年度まで延長

10月4日、臨時市議会が招集されました。

こんどの議会は、鉱害復旧事業で新設する東山代町滝川内の讃岐（さぬき）ため池工事の請負に関する議案や、地すべりなど危険地域のかたの家屋移転を進めるため、移転資金や補助金の限度額を増額する一部改正条例、昭和47年度一般会計補正予算など、急施議案4件と、9月定例市議会で継続審査になっていた昭和47年度工業用水道事業特別会計補正予算を可決したほか、昭和46年度水道事業・工業用水道事業の両特別会計予算を認定しました。

東山代町讃岐に

9万トンダムを建設

◎讃岐ため池は、臨時石炭鉱害復旧事業で、昨年度から昭和49年度までの4か年継続事業で建設することになっています。

昨年度は、調査や作業道路の建設などを行ない、本年度から本格的工事にかかることになったものです。

本年度の工事は、4,800万円をかけて堤防や、取水工、仮排水路などを建設します。なお、この改修事業にはおよそ1億8,000万円を投入することになっています。

◎地すべり等危険地域における家屋移転の助成並びに利子補給及び損失補償条例を一部改めました。

この条例は、地すべりなど危険な地域に住んでいる市民のかたたちを安全な地域に家屋を移転していただくために、必要な資金貸し付けや補助金・利子補給などをしているもので、こんどの改正は、資金の借入限度額を200万円から300万円に、補助金の限度額を20万円から30万円にそれぞれ引き上げたものです。

◎波多津漁港は、昭和45年度から48年度までの4か年事業で改修を進めています。

本年度は、物揚場の基礎工事84メートルを施工することにし、ことしの7月に4550万円で着工しましたしかし、岩盤が予定より変化しているため、計画していた砂杭打設の延長が短くなりました。そのため請負額を120万円減額し4,429万円に改めたものです。なお、この工事の完成は10月の予定です。

長近ダム建設費に

1億2,700万円追加

◎昭和47年度一般会計補正予算に21万円を追加、予算総額49億7,865万円になりました。

こんどの補正は、ことし6月から7月にかけての豪雨で、被害を受けた農漁業者の皆さんに貸し付ける資金に対して、県・市が利子を補給してやるために経費で、県支出金が21

なお、市費は予備費を当てています

◎9月定例市議会で継続審査になっていた工業用水道事業特別会計補正予算も可決され、工事を始めることがなりました。

こんど可決・承認されたのは、貯水施設の設計変更などで遅れた本年度事業分のうち7,400万円の減額と工期を49年度まで、2か年延長することを認めたものです。

長浜ダムは、はじめ、昭和45年度から46年度までの2か年継続事業で着工しました。

しかし、建設中途の昨年3月はじめ廃坑が見つかりました。以来、廃坑からのろう水対策のため、国・県はもとより、学者グループなどの協力を得て各専門分野で現地調査や工法などが検討されました。

そして同年の8月、事業費に1億1,600万円を上積み、工期も1年延長し47年度までに完成させることにしていました。当時、採用することになった工法は、廃坑跡にトンネルを掘って、コンクリートでふさぎろう水を防ぐことにしていました。

しかし、周囲の地山が予想外に悪く更に検討を加えるため、やむなく工事を中断していたものです。

ところで、こんど採用することになった工法は、国や県の強い意見もあって、念には念を入れ廃坑跡をカ

大国へと言わされているがその経済大国でさえ果たすべき役割をどれも十分に果たしていない。
いままで予算の編成も投資的経費が予算の何パーセントを占めるかということがやかましいわれたものである。それから見ると道路などは、もはや完全といえるほどでなければならぬのに、はるかに先進国に劣っている。力をいたはずの投資的経費がしかりであるから、福祉政策などはおして知るべきである。こうして考えると、いつたい予算はどこに使われてきたのかと不思議に思う。

防衛費がやかましく論じられているが、先進国の防衛費が予算に占める割合は日本どころではない。狭い国で、古い姿で開けたところを、近代的に開き直しているので、そういうところに大変なエネルギーが注がれているのかも知れない。

伊万里の町も、古い姿をこれから新しくつくり直していくしかなければならない。そのためのマサツのエネルギーにではなく、新しい発展のために結集したいものである。



▶工事を再開する長浜工業用水ダム◀

ットして、コンクリートで固めたうえ、更にコア（はがね土）で前面をまく方法をとっています。

また、えん堤のろう水対策も、中心コア式から、ダムの内側を固める前面コア式に改めています。

しかし、この工法の変更によって4,644万円を追加したほか、工期を延長したための単価増分5,432万円起債の償還や事務費などに2,648万円が必要になりました。そのため1億2,724万円を事業費に追加、総事業費も6億4,269万円になりました。

なお、工事は48年度までに終わる予定です。しかし、国の補助が49年度までに措置されることになっているため、工期を49年度まで延ばしたもののです。

再三にわたる設計変更で、市民の皆さんに大変ご迷惑をかけておりますが、地下水を望めない本市にとっては、唯一の工業用水を確保する施設であり、皆さんの深い理解とご協力をお願いいたします。

◎昭和46年度水道事業特別会計決

算は、まず事業の収益収支で、水道料金などの収益が7,861万2,741円費用が7,536万9,676円で単年度で324万3,065円の純利益でした。

そのため324万2,729円を減債積立金として積立て残り336円を翌年

度へ繰り越しました。

なお、減債積立金とは起債の償還金に当てるため積み立てておくものです。

建設改良など、資本的収支面では収入が5,196万4,229円で、支出が4,272万8,332円でした。

本年度から始めた第5次拡張事業が、当初計画どおり事業消化ができなかったため、翌年度へ繰り越しました。

ており、その財源として企業債など2,149万7,621円を当てました。

そのため、資本的収支では1,226万1,724円不足することになり、その補てんのため損益勘定留保資金と利益剰余金処分額を当てています。

◎昭和46年度工業用水道事業特別会計決算は、資本的収支のうち、収入は1億3,686万3,171円、支出は1億9,691万6,795円でした。継続費財源として翌年度へ繰り越す787万8,936円を含め、不足額の6,793万2,560円については、前年度からの繰り越金や一時借入金で補てんしています。

なお、46年度は事業の第2年度で取水や導水施設・ポンプ設備工事はほとんど完成したものの、貯水施設が廃坑のろう水防止対策のため、設計変更など工事ができなかったために1億1,386万9,086円を47年度へ繰り越しました。

— 県民手帳をどうぞ —

予約は今月20日まで

昭和48年版県民手帳の予約申し込みを受けています。ご希望のかたは各駐在員・区長さんへハヤメにお申し込みください。個人や職場でとりまとめて直接お申し込みいただいても結構です。

手帳は2種類で代金は次のとおりです。

- ポケット型 130円
- ジャンボ型 (102mm×175mm) 300円

▷申し込み期限 11月20日

▷申し込み先 駐在員・区長または市役所秘書企画課広報統計係（電話2111 内線5・18）か各出張所
▷代金支払 現品と引き換へにいたします。

なお、手帳は郷土の統計資料やマートル換算表・野菜や花の栽培メモにいたるまで、もり沢山の資料をそなえており、皆さんが日々手近かに必要な資料が豊富にそろっていますので子どもの学習にも役立ちます。

いまは経済大国から福祉
わたしは、さすがは東京
のタクシー運転手だと思う
とともに、日本の行政の遅
れを痛感せざるを得なかつ
た。

わたしは、さすがは東京
のタクシー運転手だと思う
とともに、日本の行政の遅
れを痛感せざるを得なかつ
た。

わたしは、さすがは東京
のタクシー運転手だと思う
とともに、日本の行政の遅
れを痛感せざるを得なかつ
た。

東京駅に着いてタクシ
ーに乗り、宮城前までくると
大きな車の渋滞ぶりである
そこで、タクシーの運転



名村造船所いよいよ着工

第1船起工は49年の春

株式会社名村造船所伊万里工場の起工式が、10月5日、すでに造成工事のはじまっている黒川町の金剛島地先で、盛大に行なわれました。

起工式には、名村社長をはじめ岩田九州海運局長や池田知事・小原県議会議長・竹内市長など、関係者約300人が出席しました。

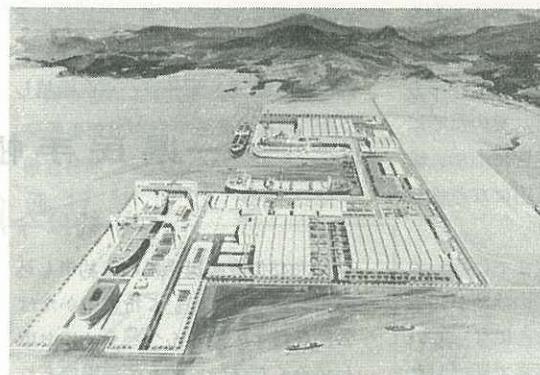
雅楽のかなでる音に、4人のミコさんがかぐら舞を奉納し、米沢伊万里工場建設本部長のカマ入れや、名村社長の穿初の儀が行なわれたあと名村社長・岩田九州海運局長や池田知事・竹内市長の4人が、エイ・エイ・オーッと力強いかけ声で4本のクイを打ち込み、工事の安全を祈りました。

また、午後から市民会館で起工祝賀会が行なわれ、大坪保育園児の子

どもトンテントンや、大川町井手口



▶穿初の儀を行なう名村源社長◀



▶名村造船所の完成予想図◀

こわい、アブラの火災

最近は、各家庭とも機械類がふえたためか、倉庫や軒先などにたくさん石油類が貯蔵されているようです。これからさきは、また暖房用の灯油などをたくさんくわえることになります。

石油は、いまでもなく、火災の危険度が高く、いったん出火するとなかなか消火ができないため、大火になるおそれがあります。

そのため、家庭に貯えておける石油類の量は、危険防止のうえから制限されています。

その量は次のとおりです。これ以上貯える場合は、消防長に届出なければなりません。また、制限量内といっても2種類の石油をいっしょに貯えることはできません。例えば、灯油90ℓとガソリン19ℓをいっしょに貯えると制限量をはるかにこえて危険だからです。十分ご注意ください

▶家庭に貯蔵できるのは下記量未満です。

- ガソリン ハイオク 20ℓ
- 灯油 軽油 100ℓ
- 重油 オイルなど 400ℓ

のトロマワシが披露されたあと、あいさつに立った竹内市長は「漁業者の生活の場である漁場を失い、先祖が残した土地を手ばなし、市民あげて一致協力、名村造船所の誘致に精魂を傾けてきたのは、名村社長のご好意と、池田知事のご決断にこたえたのがためであり、更には伊万里市繁栄の歴史をよみがえらせ、明日の伊万里市民の豊かな生活を約束してくれることを確信したからである。名村造船所の技術陣が、市民の真心にこたえるために考えだされた『自然と対話のできる夢のある造船所』を七ヶ島工業団地に実現してほしい」とあいさつしました。

伊万里工場は、現在、造成工事中の七ヶ島工業団地約150万平方メートルのうち、51万6,575平方メートルを買収し、総工費177億8,100万円を投じて、16万トン級タンカーを建造することができる第1号建造ドック（長さ295メートル・幅66メートル・深さ11.5メートル）1基や長さ155メートル幅66メートル・深さ

11.5メートルの第2号建造補助ドック1基・250トン橋型クレーン2基などのほか、屋内大型クレーン3基・屋内クレーン26基・3万9,700平方メートルの船殻加工工場・3万100平方メートルの船殻組立工場などを建設します。

第1船起工は、昭和49年4月で4万トン級の中型船から段階的に大型船へ移り、50年から8万トン級タンカーを、年間3.5隻で建造していくことにしています。

鋼材処理量は、月6,000トン、年間約300億円の売り上げを見込んでおり、従業員もおよそ1,700人を見込んでいます。

26日から火災予防週間

忘れるな火のあと始末

期間中は午後9時にサイレンも

秋の火災予防運動は、26日から12月2日まで、全国いっせいに行なわれます。

ことしの運動は「慣れた火に新たな注意」という統一標語をかけて市民の防火意識を高めるほか、火災防止と人命事故の絶滅をねらいとしています。

具体的な運動は ▷各家庭での防火対策とその再点検の励行 ▷たばこの投げ捨てと寝たばこの防止 ▷暖房器具の正しい使い方 ▷旅館や事務所など人の出入りの多いところの消火・通報・避難訓練 ▷消防署員や団員による防火訓練や、各家庭の火の元検査などを実施するほか期間中は、午後9時にいっせいにサ

イレンをならして注意を呼びかけることにしています。

先月17日には伊万里町浜町の繁華街で大火があり一瞬にして5軒が焼失し3,500万円の損害を蒙りました

ことしにはいって24件・5,000万円が灰になったわけです。

おかあさんがたもういちどお宅の

器具を総点検してみてください。ガス器のホースが破れていったり、ストーブが不燃焼しているかもわかりません。故障はすぐ修理に出し、安全な器具を安全な場所で使う心がけを忘れないようにしましょう。

また、ちょっとした油断が大火をまねきます。火の取り扱いと、あと始末は慎重・厳重にしたいものです



▶無惨に焼け落ちた浜町の大炎◀

つな渡りの妙技に拍手

消防の意気みせた訓練大会

市消防署は、10月8日、伊万里中学校グラウンドで、消防総合訓練展示大会を開きました。

消防機械など消防活動の全容を広く市民に展示して消防に対する認識を深めるため開いたもので、大会には、多久島消防長をはじめ消防署員49人・消防車両10台が参加しました。午前8時30分、特別に参加した佐世保市消防局音楽隊のプラスバンドを先頭に、消防本部から伊万里中学校グラウンドまで堂々の市中行進を行ないました。

会場にあてられた伊万里中学校グラウンドには、各

町消防分団の幹部や一般市民約300人が見守るなかで竹内市長の観閲を受けたあと、署員の姿勢や服装・動作の通常点検、進行間の動作など小隊訓練が行なわれました。

また、廃油やガソリン・灯油320リットルを燃やしての消火、プロパンガス50キログラム入りボンベ5本を同時に噴射し、燃焼させての化学消火剤による消火訓練、炎上する事故車から負傷者を救出する救急訓練がありました。

このほか、伊万里中学校校舎を利用して、レインジャー隊によるハシゴやロープを使っての避難者救助訓練が行なわれ、1本のロープを巧みに使いながら校舎から校舎へ渡るレインジャー隊員の勇気ときびきびした動作に大きな拍手が湧いていました。

記念切手を再販売

伊万里郵便局は、15日ごろ次の記念切手を再販売します。ご希望のかたは窓口でお求めください。

▷第3回アジア競技大会記念切手
ランナー 14円
ダイビング 24円
いずれも昭和33年5月24日発行したもの



▶市消防署員の決死の消火訓練◀

-用途地域など正式決定

建物は今月から制限をうけます

都市計画に基づく「用途地域」と「準防火地域」が、知事の承認を得たため、11月1日付で決定しました。両地域の決定については、昨年の1月から作業を始め、関係者のかたがたに対する素案の説明や、意見聴取を行ない、素案の修正を経て、更

に公聴会や縦覧に供したうえで決定したものです。

ただし、公聴会は公述人がなかつたため中止しました。

したがって、今月から両地域内に建物を建てようとするときは、すべて建築主事の建築確認を受けるとき

準防火地域内の建築物の制限

対象		構造
①	地階を除く、階数が4以上または延べ面積が1,500m ² をこえる建築物	耐火建築物
②	地階を除く、階数が3または、延べ面積が500m ² をこえ1,500m ² 以下の建築物	耐火建築物または簡易耐火建築物
③	①②以外の木造建築物	防火構造
		不燃材料で造るかおおうこと

用 途 地 域 内 の 建 築 物 の 制 限

バイパスの開通は
いつの日か

立花町一市民

伊万里市街地の交通緩和のため、国道二〇二号線のバイパスが建設されることを知ったのは、たしか五年前の昭和四十二年だったと記憶している。

およそ四キロメートルに及ぶ用地の交渉など、なから敬意を表したい。

しかし、見たところ祇園町の森永三差路から、県道伊万里と武雄線の堀田病院下までの改良と、筑肥線の架橋・伊万里駅裏付近の工事が行なわれているといで、あまり工事は進んでいないようである。

わたしの知る限りでは当初四十六年度の完成予定であったと思う。その間いろいろな事情はあったにせよ年



する車の量は、情け容赦なくふえ、いまの一日の交通量は、一万五千台をいうにこえていると聞く。一日一万五千台とすれば、一分間に十台以上の車が通る勘定である。この緩和策として計画したバイパスが、いまの進みぐあいではこの先どうなることか関係者の最善の努力を期待したい。

それに、せっかくできあがつた大坪町の森永三差路から、県道伊万里と武雄線間は、早く舗装して、一日も早く開通していただき、いくらかでも交通緩和に役立てて欲しい（おこたえ）

市都市開発課長

ご意見ごともとも思ひます。市としても国に対しても早期完成を要望し続けています。しかし用

年完成年度がのび、いったい、いつになつたら完成するのかわからない状態である。

いっぽう、市街地を通過地交渉が予想以上に手まり、計画どおり工事にかかり難かったのが実情です。しかしながら新設道路のため地盤が安定するまで舗装を見合せています。

森永三差路と県道伊万里武雄線間は、ご承知のとおり貫通しています。しかし新設道路のため地盤が安定するまで舗装を見合せています。

などへの企業進出とともに、少しずつ若者がふえ、青年団員も15人になりました。

この団員たちが、この9月の例会で、団活動の一つとして「郷土にうるおいを取り戻そう」と立ち上りました。そして江口団長を先頭にさっそく浮立の特訓を始めたのです。

そして10月10日、子ども浮立にまじって初の桧舞台を踏みました。

笛を吹く者、太鼓を打つ若者、それはみんな晴れやかな、たのもしい姿でした。

これには、同町で飲食店を経営する松永賢次さんが、浮立の楽譜をつ

わが町にうるおいを

青年団員が浮立て盛りあげる

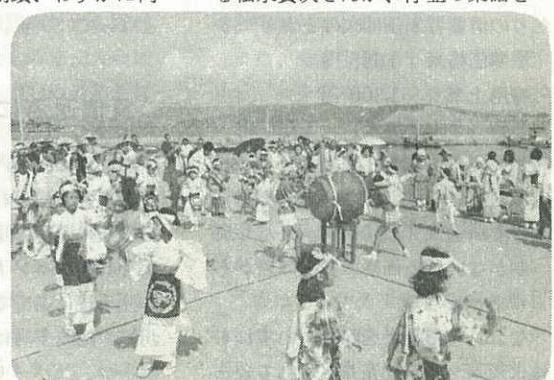
チョウリーライライ・チョウリーライ……、澄みわたる秋晴れの10月10日、浦の崎の町の中ほどから美しい笛の音色にまじって威勢のいい太鼓や鐘の音がひびいてくる。部落の氏神疫（えき）神社の祭礼である。

ここ浦の崎は、戦時中、軍用船を造った川南造船所があり、当時は従業員や従用工員・学生などで、昼間人口は2万人以上ともいわれるほどの繁栄をみせました。しかし、終戦

とともに造船所は閉鎖、わずかに向山炭坑の操業などによってささえてきたのです。その向山炭坑も石炭革命によって姿を消し、その後、岩尾磁器などの立地はみたものの、隣の久原地区の景気をよそに静まりかえった町になってしまいました。

この沈滞したムードを、なんとか盛りあげようと、昭和40年には子ども浮立を創設して力を入れてきました。しかし、静かな町にも久原地区

所得税第2期分の納期は11月30日までです
また、税の相談は毎月5日の日です。気軽に
おいでください。



くって提供してくれるなど、陰の協力もあったと聞きました。浮立て隊は総勢100人、午前11時から夕方まで町内をくまなく練り歩き、町内の皆さんから盛んな拍手をうけました。

一低調な市民の選挙意識

広報アンケートの結果（下）

今月は、市民の暮らしむきや自動車・電化製品の普及状況・明正選舉についての意識調査の結果をお知らせします。

ふえてきた

サラリーマン世帯

市民の生活と密接な関係がある暮らしむきについて、家族構成や職業1か月の収入と支出の状況・貯金の使いみちなどを調査しました。

調査の対象となった1,516世帯のうち389世帯（25.9%）が5人家族で、6人家族387世帯（25.5%）4人家族299世帯（19.7%）・7人家族234世帯（15.4%）となり、市民の家族構成は、平均して5人から6人家族で構成されているようです。

職業は、工場や事業所などの勤め人が全体の41.9パーセントを占めており、農林漁業33.3パーセント・商

消費生活苦情相談室

10月1日から改訂された10キロ当たりの消費者米価は次のとおりです

- ・標準価格米 1,655 円
- ・特用上米 1,300 円
- ・名柄（3～4等米） 1,750 円
- ・シルバー米（3等以上） 1,835 円
- ・自主流通米 2,100 円（ただし規制がないため価格に多少の差がありましょう）

なお、特用上米を除き、いずれも強化米入りとして売り出されています。強化米としての添加量は、米1キロ当たり5グラム以内ですから10キロ当たり50グラム・35円が加算されています。

消費生活苦情相談員 立石幸子

工業11.9パーセント・サービス業の順となっています。

1か月の収入は、5万円から6万円が14.2パーセント・6万円から7万円11.9パーセント・4万円から5万円10.2パーセントで、平均月収はおよそ6万円といどです。

市民が生活していくために、どのような割合で支出しているかについて調査した結果、主食や副食・日用品など、食べていくのに必要な生活費が、全収入のだいたい50パーセントを占め、教育費や電気・水道・ガスなどの使用料・貯蓄がそれぞれ10パーセント・娯楽費や住宅・月賦の負債返済・税金や区費など公公課が5パーセントといった割合を示しています。

月収のおよそ10パーセントを占める貯蓄の使途については、医療費など不時の支出にあてる目的で貯蓄している人が28.1パーセント・学資のたしにする人23.6パーセント・老後のための貯蓄13.8パーセント・住宅を建てるための資金13.8パーセントとなっています。

負債返済に追われる農家

ちなみに、市内4地区から選び出し、お金の使われ具合も調べましたその結果、伊万里町や山代町が、およそ45パーセントから60パーセントを生活費にあてているのに比べ、黒川町や南波多町は、生活費に占める割合が、26パーセントから40パーセントといどでした。なお、生活費を除いた大半は、住宅や月賦などの負債・貯蓄などにあてられていることもわかりました。さらに、サラリーマン家庭が、主食や副食・日用品な

どの生活費に月収の大半をあてているのに比べ、農村部の家庭は、農業の近代化に伴って、農用機械器具の月賦などに追われているようです。

自動車の普及は

7.4人に1台

自動車の普及状況は、1,516世帯のうち981世帯（64.7%）が自動車を持っています。

台数は、乗用車591台・トラック533台、あわせて1,124台、調査の対象となった1,516世帯・8,308人に對し、7.4人に1台の割合で自動車が普及しています。

自動車を持たないと答えた535世帯（35.3%）について、将来、自動車を買うつもりがあるか調べましたその結果、買わないと答えたものが59.7パーセント・買う22.5パーセント・わからない17.8パーセントという結果でした。

テレビについては、カラーテレビ694台・白黒テレビ1,225台で、ほとんどの家庭がテレビを持っており持たない家庭は4世帯でした。1世帯当たり1.3台の割合で普及しています。

テレビを除く電化製品の普及状況は、洗たく機（95.6%）・電気冷蔵庫（91.9%）・電気コタツ（87.9%）石油ストーブ（79.3%）・電気掃除機（71.7%）・炊飯器（65.9%）です。しかし、クーラーや電子レンジのような高価な製品の普及はまだ低く、6パーセントにも満たない状況です。

明るく正しい選挙を実現するためには、市民参加の会費制による明正選挙推進協議会をつくってはどうか調査しました。しかし、その結果は賛成（28%）反対（18%）わからない回答なしが（54%）でした。

市民の選挙に対する意識は、まだまだ低いようです。いつの選挙でも悪質な違反が行なわれるのには、こうした意識の低さからと思われます。

寝たきり老人の慰問など

九電が盛り沢山のサービス月間行事

九州電力の松浦英夫伊万里営業所長ら3人は、10月6日、一人暮らしで、寝たきりのおとしより原口イシさん（松浦町山形・78歳）など、4人を訪問、九電の佐賀農業電化試験場でとれたメロンやお菓子を贈って励ました。

九電のサービス月間にちなんで行なわれたものです。

イシさんは、リューマチをわずらい手足が不自由で、杖にすがってやっと歩けるていどですが、食事の時間ごろになると、近所の人たちが炊事をしてくれたり、おかずを持って

きてくれたりしているそうです。

ふだんはラジオを聞いたりしてや



▶松浦九電伊万里営業所長の訪問に喜ぶ原口さん◀

老人福祉センター や小・中学校へと矢車草など4種のタネ780袋を市に寄託したほか、消防署と合同で市民病院や小・中学校の火災報知器などの点検奉仕や玄海町に建設中の原子力発電所に母子家庭の子どもを招待

するんでいるが、週1回洗たくや、身の回りなどの世話をしてくれるホーム・ヘルパーの大久保恵子さんに会うのが唯一の楽しみだそうです。

松浦所長が持参したおみやげを手渡すと「きょうまで生きてこれたのは、皆さんや近所のかた、それに大

しました。

また、九州電気工事株式会社伊万里出張所でも、28日には、古い電柱を利用してつくった平均台など遊具施設を蓮池公園に寄贈し、サービス月間として盛りたくさん行事を行ないました。

ことしも黄色いカサを贈る たばこ組合婦人部が市に寄託

伊万里たばこ販売協同組合婦人部長大串シユウさんは、9月25日、部員210人を代表して市役所に竹内市長をたずね、交通安全用の黄色いこうもりがサ50本と部員がぬいあけた雑布240枚を寄託しました。

市は、この心のこもった贈りものをさっそく市内の小学校に配り、使ってもらうことにしました。

なお、この婦人部は昨年も、交通安全の願いをこめた横断旗を贈っています。



▶竹内市長にカサを手渡す代表の大串さん◀

電気の知識

ヒューズの役目

家庭の電気配線には、リミッター やヒューズのはいった安全器が取りつけてあります。

もし自家だけ停電したら、まずリミッターを調べてください。リミッターが切れていたら、使っている電気器具の一部を切り、リミッターのツマミを「入」にします。

また、安全器のヒューズが切れている場合があります。ヒューズが切れる原因は、器具の故障や一度にたくさんの器具を使ったためです。つまり、ヒューズは電気事故を防ぐ役目をもっています。ですから、ヒューズが切れたからといって針金などを代用すると火事の原因になります必ず正しいヒューズを取りかえましょう。

—————

連載した「塩の効用」は先月号で終わりました。今月号から「九電のご協力で「電気の知識」を連載します。ご愛読ください。

期間中にも10人がケガ

秋の交通安全運動終わる

全国的に繰りひろげられた“秋の交通安全運動”は、9月22日から10月1日までの10日間実施されました。伊万里市は、市内17小学校を中心に、スクールゾーンの定着化と子どもや老人を交通事故から守ることを重点に行ないました。

スクールゾーン対策は、ゾーン内の交通安全施設整備と交通規制を行ない、交通安全施設面では、通学路の舗装・横断歩道の新設27か所・歩道新設2か所・信号機の新設3か所などを整備しました。

交通規制面では、歩行者専用道路（車両進入禁止）4か所・駐車禁止1か所・追い越し禁止2か所・スピード制限1か所・大型車進入禁止1か所を新設して、交通事故の防止を

図りました。

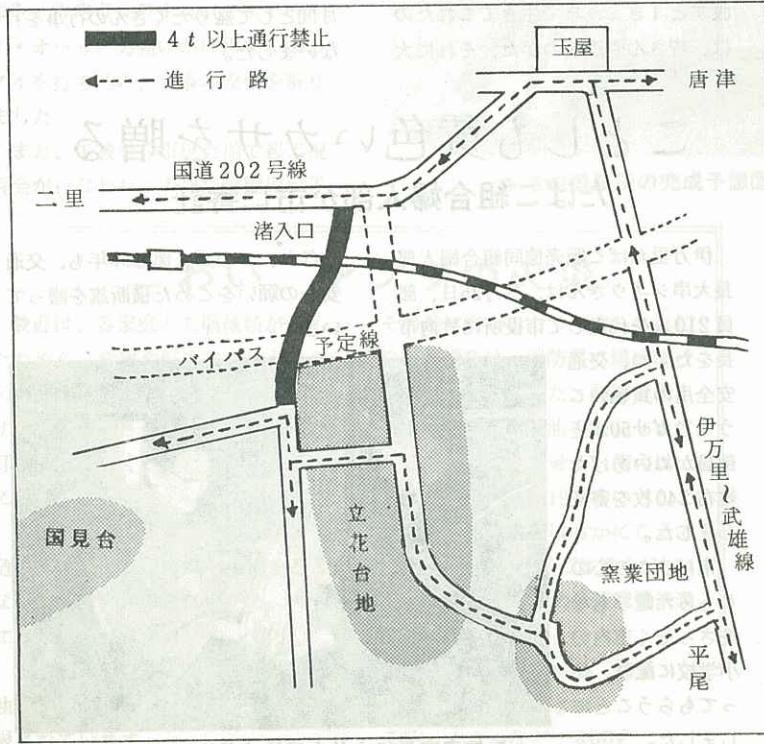
また、スクールゾーンを運転者に周知させるために、スクールゾーン入口に立看板を立てて、安全運転を呼びかけました。

街頭では、交通安全指導員や警察官をはじめ、交通安全母の会・交通安全協会・老人クラブ・青年団など各方面からのご協力をえて、歩行者とくに学童の指導にあたりました。

更に、小学校・保育園児などの交通事故防止をはかるために、子どもむけや母親むけ・運転者むけの交通安全パンフレットを配布して交通安全を呼びかけました。

警察官による交通指導取り締りは交通事故に直結する悪質違反行為の徹底排除を重点として実施され、期

大型車両の通行禁止区域



間中の取り締り件数は186件でした。期間中の交通事故発生件数は8件です。事故にあった人は10人（死者0人・傷者10人）で、昨年より4人減っています。

しかし、ことし重点的に行なったスクールゾーン内で2件の事故があり、老人が1人けがをしています。

ことしの秋の交通安全運動は、これらの交通事故発生状況からみて一応の成果があつたと認められます。

春や秋の交通安全運動期間中だけではなく、毎日毎日が運動期間であることを肝に銘じ、お互い交通ルールを守ってほしいものです。

一交通事故相談所利用者への 追跡調査にご協力を

県に交通事故相談所が開設されてことしで満5年目を迎えました。

市役所は毎月第2・第4火曜日に県の相談員が、市民生活室で交通事故相談所を開いています。交通事故の激増で、相談所を利用される人が年ごとにふえ、昨年は116件でした

こんど、県は、交通事故相談所を利用されたかたのうち、昨年中に死亡・重傷・後遺症などの被害を受けられた側の相談者で、その後6か月間以上相談を中断されたかたに対してもアンケート式の追跡調査を実施しております。この調査は、こんどの交通事故相談所の運営資料とするためのものです。該当されたかたは調査にご協力ください。

一交通規制のお知らせ

▶大型車両通行止（4t車以上）市道金谷→高尾線500メートル（国道202号線から旧伊万里高校あと地）ただし、定期バスは除かれます。

▶一方通行 市道土井町線は、午前7時から午後1時まで藤田薬局側からマルキン商会方面、午後1時からは、マルキン商会側から藤田薬局方面に一方通行となっています。

妊婦検診と相談

11月14日 9時30分~12時
波多津町小島医院
" 13時30分~15時
東山代町内山医院
21日 13時30分~15時
南波多町小島医院
大川出張所(相談)

成人検診

▷対象者 35歳以上のかた
▷検査内容 医師の診察・血圧測定
検尿・保健指導
▷料金 無料
▷日時と場所
11月10日 松浦町岳坂公民館
13日 南波多町笠惟公民館
15日 二里町中田公民館

16日 大川内町吉田公民館
17日 波多津町筒井公民館
22日 山代町鳴石公民館
24日 東山代町脇野公民館

※時間 13時30分~15時

小児マヒ生ワク投与

▷対象者 昭和46年8月1日から昭和47年7月31日までの出生児

▷料金 無料

▷日時と場所

11月15日 松浦公民館
" 大川出張所
16日 南波多出張所
" 二里出張所
17日 山代出張所
" 東山代公民館
20日 黒川出張所
" 波多津出張所
22日 柳井町公民館(大坪・大亡母タツ)
○前山クニ(木須町木須東
亡夫忠雄)
○井上元久(二里町大里
亡母イシ)
○木須勝巳(木須町木須東
亡母サト)
○副島亨(松浦町岳坂
亡母サノ)
○山田久男(松浦町中野原
父一夫)
○松尾義治(山代町楠久
亡妻久子)
○宮地商事株式会社(新
天町亡会員日浦登)
○日浦五月(立花町西円
造寺亡夫登)
○向二男(大川町東田代
亡父與七)
○梅村隆(南波多町笠惟
亡父與七)
(累計一八五万八六五〇円)

川内町
24日 中央公民館(伊万里・牧
島校区・二里町東八・黒
川町立目)

28日 中央公民館(接種もれの
かた)
※時間 13時30分~14時30分

=電話料金が変わります=

電話料金が、11月12日から次のように変わります。ただし、磁石式局の加入電話でかける場合は今までどおりです。

▷伊万里局の加入電話の場合

- 市内通話 3分までごとに7円
(現行1回につき7円)
- 有田方面 3分までごとに7円
(現行80秒までごとに7円)
- 佐賀 唐津 武雄 佐世保方面
80秒までごとに7円(現行60秒
までごとに7円)

社会福祉事業費へ

次のかたからご寄付をいたしました。厚くお礼申しあげます。(敬称略)

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

市民会館設備資金へ
○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

○大木徹(大坪町六仙寺
亡父松次)

○内山和三(大川内町平尾
亡父一)

○柱時計式個(二里町西八
谷堀前田松右エ門)

○柱時計式個(松浦町桃の
川松尾安兵衛)

○十萬円(藤間流伊万里会
篤志寄付)

老人福祉センターへ
○篤志寄付

亡母(テイ)
○山下イヨ(松島町下松島
亡夫辰二)

○徳永武(松島町
亡母山
下ツマ)

ことものページ

伊万里湾に住むカブトガニ

4億年前の「生きた化石」

かいがん
海岸ちかくの人なら見たことがあります
ると思いますが、伊万里湾には、世界でも少ないといわれている「カブトガニ」が生息（動物が住んでいること）しています。

このカブトガニは、4億年以上も昔に生きていた「三葉虫」によく似ていますことから、その子孫ともいわれ、生きた化石（昔からいままですがたかたちがかわっていない）ともいわれています。

このめずらしいカブトガニの産卵地（たまごを生むところ）は、全国で伊万里湾のほかにはごくわずかしかないそうです。

しかし、伊万里湾はこれからうめたてがはじめられたため、カブトガニの住むところがなくなるのではないかと心配されています。

そのため県は、ことし8月はじめ長崎大学や、早くからカブトガニの研究をしている伊万里高等学校のみなさんといっしょに、伊万里湾いittaiのカブトガニの住んでいるところ

カブトガニのおもな生息地



しらろを調べてまわりました。

その結果、波多津町から東松浦郡の肥前町や長崎県の福島町ふくしままで、伊万里湾の海岸およそ30キロメートルにわたって産卵地があることがわかりました。

また、このときカブトガニがたまごを生むときのようすなども調べました。その結果もちかいうちに発表されることになっています。

このほかにも、カブトガニの産卵地は、長崎県の北松地方や、福岡県の海岸にあるとみられていることから、両方の県とも話し合って国の天然記念物（だいじな記念物として法律できまりをつくり保護する）にしてもらうように国に働きかけることにしています。

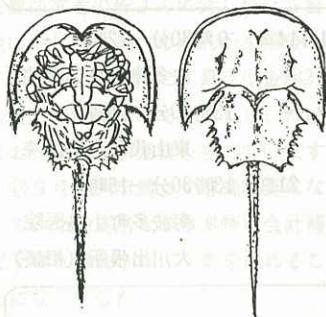
カブトガニは、およそ4億年の昔から地球上に生息、マンモスなどがほろびた氷河時代も生きのびてきたまぼろしの生物ともいわれていますまた、昔から今まで、ほとんどがたかたちがかわっていないことから大昔の歴史をさぐるために、だいじな動物なのです。

日本では、瀬戸内海と九州の北の方の海岸に住み、外国では、アメリカの東海岸、アジア近海にだけ住むといわれます。

このうち、岡山県の笠岡市が国のきまりで、香川県の一部が県のきまりでカブトガニをとってはいけないことになっています。しかし、伊万里では、まだこんなきまりはありません。

カブトガニは、水の流れこむ、み

カブトガニのすがた



しおさ
ち潮とひき潮の差が大きくてガタがたくさん出る、砂のある海岸にたまごを生むそうです。また、満月の夜中のいちばん潮のみたときたまごを生むこともわかっています。

7月から9月にかけてが、ちょうどその時期なのです。

伊万里湾のカブトガニの生息じょうたいは、伊万里高等学校のみなさんが、昭和38年ごろから研究をはじめ、昭和41年に伊万里湾いったいの海岸が、カブトガニの産卵地であることを発見しました。

いまも熱心な研究が行なわれております、たくさんのが、りっぱな資料をもっています。

でもちかごろは、どこもかしこもうめたてが進められ、なん億年も生きつづけてきたカブトガニの住むところがなくなって、ほろびてしまうのではないかと心配されています。

しかし、さいわいにも、伊万里では、いま計画されているうめたて予定地のそとにも産卵地があることがわかり、だいじょうぶだろうと考えられています。

でも、このままほおっておいてはつかまって殺されたり、全滅するかもわかりません。ですから、わたしたちの手で、このめずらしいカブトガニを守っていかなければなりません。

みんなも、カブトガニがこのさきなん年もなん年も生きつづけるようにそっと見守ってやりましょう。